

下水道フェスタ'07を開催

9月8日

(財)岩手県下水道公社

昭和36年に「全国下水道促進デー」として始まった「下水道の日」は今年で47回目を迎えました。

「9月10日は下水道の日」の記念行事として、都南浄化センターを会場に下水道フェスタ'07を開催し、592名の来場者でにぎわいました。

下水道の日

下水道は、「浸水から街を守る」という重要な役割を持つことから、立春から数えて220日、統計的に台風などが多いこの時期に下水道の日が設けられました。

◇ イベントの目玉「下水道ツアー」

「下水道ツアー」は、下水が浄化され川に戻るまでの流れを施設ごとに見学できるイベントの目玉であり、下水処理の過程を体験するものです。

見学時間は約1時間、①油分等の固まりであるスカムや細かいゴミを取り除く最初沈殿池、②最初沈殿池からオーバーフローした下水中の汚濁物質を活性汚泥（微生物の集まり）の力で除去する反応タンク、③活性汚泥と浄化された上澄み水とに分離する最終沈殿池、④取り除いたゴミ等（汚泥）を処理する汚泥処理設備を見学していただきました。

「下水を浄化するほかに、汚泥はリサイクルしている。汚泥を発酵させた後に、水分を取り除いて脱水ケーキにする。脱水ケーキの大部分は焼却して、灰をセメントの原料に、脱水ケーキの一部は堆肥にしている。」との職員の説明に、見学者からは「下水を処理して川に流すだけでなく、汚泥もすべてリサイクルされていることを知り感心した。」との声が多数聞かれました。

◇ このほかにも

下水道ツアーの他にも、微生物シアター、廃油キャンドルづくり、下水道スタンプラリーなど下水道の知識や環境を守る大切さを理解できる様々なイベントを行い、子供から大人まで楽しんでいただきました。

これをきっかけに下水道を大切に正しく使っていただき、また、下水道の接続普及が進むことを願っています。



開場式の様子



下水道スタンプラリーの抽選



下水道ツアー（最終沈殿池）



下水道ツアー（管廊）



微生物シアター



紙すき、廃油キャンドルづくり



下水道関連機械の操作体験（バックホウ）



下水道関連機械の操作体験（調査用カメラ）